

シヨツブ5傑

オートギャラリー特集

全国必見!!の



ELECTRIC



並行してUSトヨタのミニバン、シエナにナビや電動格納ドアミラーなどを装着する作業も進む。



写真は、北米向けボルシェイエンの赤のLEDウインカーを、日本仕様のオレンジに変える作業。佐藤栄記メカが非分解式のケーブルを割り、LEDをひとつひとつ植え替えていく職人芸を見せた。



MAINTENANCE & CUSTOM

並行輸入車の国内法規適合から
カスタムまでOKのファクトリー

快適な直輸入車ライフを 影で支える技術者集団

かつての日本の輸入中古車市場では、並行輸入車は一段低く見られていました時期があった。正規ディーラーではメンテナンスが受けられず、さりとて街の工場ではいじられず、買ったはいいが後で困るクルマと思われていたのだ。

しかし、本国での買い付けから

輸入、日本の法規への適合まで自社で手がけるオートギャラリーなら、そんな心配は無用だ。東名高

速横浜駅前田インターからもほど近い横浜市瀬谷区にある同社テクニカルセンターでは、日常メンテナンスはもちろん、直輸入車の法規適合やナビのインストールなど、あらゆる作業が可能だ。

広いファクトリー内は2つのブースに分かれており、ハマーまで扱える4tリフトを完備し、重整備もこなす整備部門と、ナビのインストールや灯火類の日本法規適合などを手がける電装部門のそれぞれ、エキスペルトメカニックが控えている。その腕を頼つて他店で購入した輸入車で駆け込むユーチャーも多いという。



世界のクルマのテスターも完備。写真奥はボルシェ用、



タイヤチェンジャーは写真の26インチまで対応。柳下遼太郎整備部長と比べると、大径ぶりがわかる。

修理だけでなく、オリジナルのカスタムカーの製作も手がけており、金・塗装もふくめてハイレベルな仕上がりをリーズナブルな予算で実現してくれる。電装部門では、海外向けでは装備されない車種が多い電動格納下アミラーの取り付けや、現地仕様ナビへの日本の地図ソフトのインストールといった、まさに職人技の作業までできるという。



オイル交換などのクイック作業を、くつろいで待てる待合室も完備している。こうした細やかな気配りが、購入後の満足を支えるのだ。



AUTO GALLERY TECHNICAL CENTER

掲載ページ: 00

045-924-4655

住所: 神奈川県横浜市瀬谷区目黒町39-4
営業時間: 10時~20時 火曜定休
HP: <http://www.autogallery.jp/>

アメリカ車からメルセデスやボルシェなどの欧州車、逆輸入国産車まで、あらゆるクルマを扱うオートギャラリーの整備部門。整備部門ではエンジンのオーバーホールなどの重量整備もOK。カスタムカーの製作も手がける。電装部門は灯火類の日本法規適合やナビのインストールなどを担当。スマートキー やサイドカメラなどをセットにしたAGパッケージも好評だ。